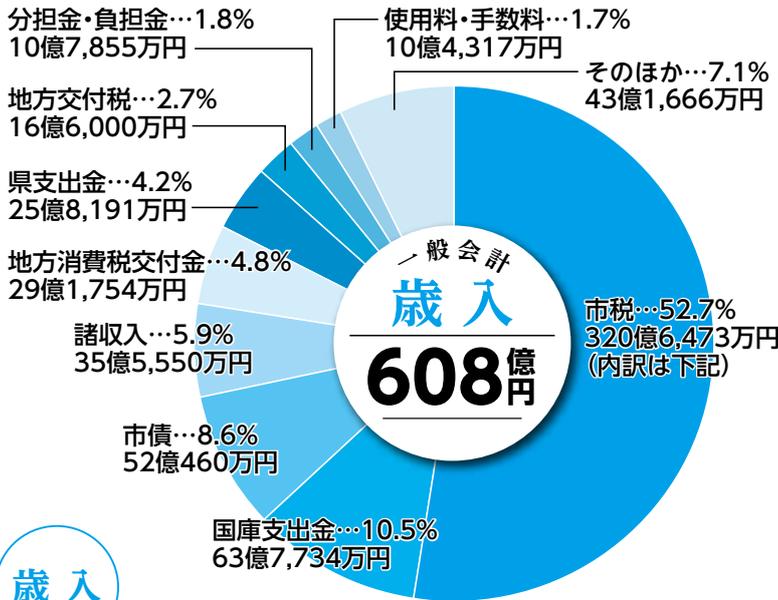


# 一般会計は

# 608億円

平成29年度予算案が3月定例市議会会で可決されました。一般会計は608億円で、28年度と比較すると、11億円(1.8%)の減額。特別会計と水道事業会計を合わせた予算総額は923億6,861万6,000円となり、28年度より11億5,414万6,000円(1.3%)の増額となっています。



## 歳入

市税(全体の52.7%)は320億6,473万円で、28年度と比較すると2億9,108万円の増収となっています。国庫支出金(同10.5%)は63億7,734万円となり、6億4,086万円の減額。市債(同8.6%)は52億460万円で、14億10万円の減額となっています。

### 市民1人が納める市税は24万円です

市民の皆さんが29年度に納める予定の市税の内訳は次の通りです。これを市民1人あたりに換算すると約24万円となります(市税予算額320億6,473万円÷平成29年2月末日現在人口13万2,221人)。

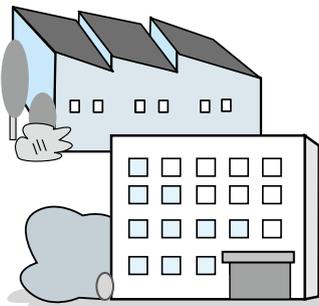
## 市税の内訳



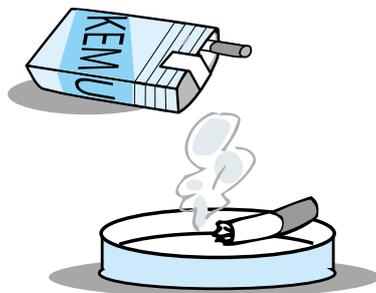
固定資産税 195億1,214万円



個人市民税 78億7,293万円



法人市民税 30億2,356万円



市たばこ税 11億6,857万円

都市計画税……………2億 382万円

その他(軽自動車税など)…2億8,371万円

本市の財政は、歳入では、固定資産税を中心とした税収の安定により、自主財源が確保されています。しかし今後、少子高齢化の進行や、普通交付税が段階的に縮減され平成33年度には不交付となることなどから、大幅な増額は見込めません。

歳出では、扶助費、公債費などの義務的経費や、道路、橋りょう、学校などの公共施設の老朽化に対応するための経費のほか、医学部や付属病院の設置、第3滑走路の整備をはじめとする成田空港の

機能強化に向けた取り組み、待機児童を解消するための子育て支援など、市総合計画「NARITAIMIRAIプラン」に基づく将来を見据えた施策に要する経費の増加が見込まれています。

このような状況に対応していくため、平成29年度の予算編成では、行財政の無駄を省くとともに、より一層の経費削減に努め、事務事業のさらなる「選択と集中」を進めることで、効率的かつ効果的に予算を配分することを主眼に置きました。

## 特別会計

284億7,633万円

特別会計とは、特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要のあるときに設けられる会計です。市では、次の8会計を設けています。

\*1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しません

- ①国民健康保険(事業勘定)・・・161億4,926万円  
被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに対し、必要な保険給付を行います。
- ②国民健康保険(施設勘定)・・・1億5,982万円  
医療サービスの向上を図るため、国保大栄診療所で被保険者などに対し、診療を行います。



吉岡にある国保大栄診療所

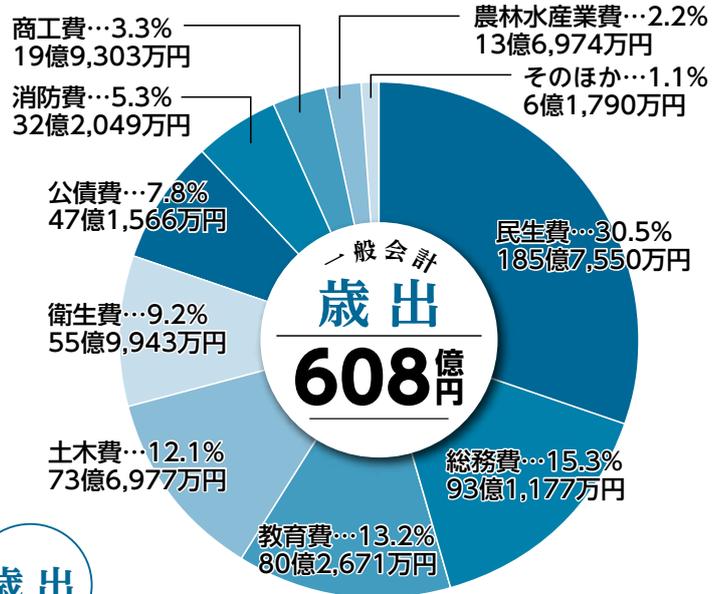
- ③下水道事業…………… 27億2,309万円  
都市排水施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ります。
- ④公設地方卸売市場…………… 6億2,252万円  
青果物、水産物、生鮮食料品などを安定した価格で供給し、市民生活の向上を図ります。
- ⑤介護保険…………… 72億1,386万円  
被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。
- ⑥農業集落排水事業…………… 1億7,250万円  
下総・大栄地区の農業集落に排水施設を整備し、生活環境の改善を図ります。
- ⑦後期高齢者医療…………… 9億8,166万円  
後期高齢者医療制度加入者の保険料徴収や保険証の引き渡しなどを行います。
- ⑧簡易水道事業…………… 4億5,361万円  
下総・大栄地区に給水する小規模な水道事業です。

## 地方公営企業会計

30億9,228万円

地方公営企業会計として、水道事業会計があります。

水道事業収益(収益的収入)・・・20億3,048万円  
水道事業支出(収益的支出)・・・19億5,418万円  
資本的収入……………5億975万円  
資本的支出……………11億3,810万円



## 歳出

歳出の目的別分類では、民生費が28年度比4億7,080万円減の185億7,550万円(全体の30.5%)で最も多くなっていて、児童手当支給事業、生活保護扶助費、私立保育園等運営委託事業などに充てられます。2番目は総務費で、28年度比11億7,668万円減の93億1,177万円(同15.3%)となっていて、国家戦略特区推進事業、民家防音家屋等維持管理費補助事業、鉄道施設等耐震化推進事業などに充てられます。3番目は教育費で、28年度比11億913万円減の80億2,671万円(同13.2%)となっていて、学校給食事業、久住中学校増築事業、公民館大規模改修事業などに充てられます。

### 市民1人当たり46万円使われます

平成29年度、市民の皆さんにいくら使われる予定かを示してみました。市民1人当たり約46万円となります(一般会計当初予算額608億円÷平成29年2月末日現在人口13万2,221人)。

### 市民1人当たりの歳出の内訳



民生費 14.1万円

教育費 6.1万円

総務費……………7万円	土木費……………5.6万円
衛生費……………4.2万円	公債費……………3.6万円
消防費……………2.4万円	商工費……………1.5万円
農林水産業費……………1万円	その他……………0.5万円

生活保護扶助費	21億 572万円
地域医療対策事業	4億6,792万円
予防接種事業	3億7,981万円
結核・がん検診事業	1億3,485万円
母子保健事業	1億6,703万円

### 地域文化を生かし、 未来を担う心豊かな人材を育む

本城小学校増築事業	6,240万円
校舎の増築に向け、建設予定地の隣接地の用地取得や増築棟の基本・実施設計などを行う。	
豊住ふれあい健康館管理事業	2,722万円
地域コミュニティの醸成などの場として整備した豊住ふれあい健康館の管理運営を行う。	
英語科研究開発事業	1億8,180万円
個性を生かす教育推進事業	1億7,898万円
大栄地区小中一体型校舎建設事業	3億3,194万円
久住中学校増築事業	3億9,080万円
大栄幼稚園管理運営事業	5,688万円
公民館大規模改修事業	3億5,389万円
図書館施設維持管理事業	1億4,994万円
国際文化会館施設整備事業	6,585万円
運動公園等整備事業	1億5,797万円
学校給食事業	12億5,131万円

### 空港の機能を最大限に生かし、 魅力的な活気あふれる都市をつくる

コミュニティバス運行事業	1億5,466万円
--------------	-----------



うなりくんが描かれているコミュニティバス

スポーツツーリズム推進事業	505万円
鉄道施設等耐震化推進事業	2億3,351万円
成田ブランド推進戦略事業	8,834万円
生活道路整備事業	8億7,524万円

幹線道路整備事業	7億 48万円
JR・京成成田駅参道口地区整備事業	3,915万円
表参道整備事業	3億3,027万円
ニュータウン中央線整備事業	18億9,939万円

### 活力ある産業を育て、 にぎわいや活気を生み出すまちをつくる

食育推進事業	262万円
食を楽しみ、食の大切さを実感できる生活の実現を目指し、第2次成田市食育推進計画を策定する。	
表参道銀行跡地利活用事業	977万円
銀行跡地を暫定的な広場として整備し、観光客の憩いの場やイベント会場として活用する。	
雇用促進奨励金交付事業	833万円
水田農業構造改革対策事業	1億6,982万円
農地・水保全管理事業	5,813万円
中小企業資金融資事業	13億 383万円
企業誘致事業	2,577万円
観光に関する経費	5,204万円



田園地帯を歩く「成田エアポートツーデーマーチ」の参加者

### 市民サービスを充実させ、 持続可能な自治体運営を行う

ケーブルテレビ視聴エリア拡大事業	1億7,297万円
庁舎改修事業	4,130万円
コミュニティセンター管理運営事業	8,618万円
資産経営管理事業	109万円

※予算書は、行政資料室(市役所1階)、市立図書館、財政課ホームページ(<http://www.city.narita.chiba.jp/sisei/sosiki/zaisei/index.html>)で閲覧できます。くわしくは財政課(☎20-1512)へ。

# 平成29年度当初予算の主要事業



上空から見たJR成田駅周辺

## 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる

業務継続計画策定事業……………960万円  
 災害時、行政自らが被災した状況下において、優先的に実施すべき業務の特定や、執行体制などを計画に定める。



東日本大震災発生後に開かれた災害対策本部会議

騒音地域ケーブルテレビ普及促進補助事業……………243万円  
 新たにケーブルテレビの視聴が可能となる騒音地域の世帯に、加入の際に必要な工事費の一部を補助する。  
 航空機騒音地域補助事業……………1億5,975万円  
 民家防音家屋等維持管理費補助事業……………6億8,228万円  
 成田富里いずみ清掃工場維持管理事業……………7億4,666万円  
 新清掃工場関連付帯施設整備事業……………2億2,170万円  
 いずみ清掃工場解体・ストックヤード整備事業……………1億2,338万円  
 消費生活センター運営事業……………867万円  
 準用河川整備事業……………1億415万円  
 住区基幹公園整備事業……………5,850万円

消防庁舎整備事業……………6億4,856万円  
 消防車両・装備強化整備事業……………2億2,935万円

## 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる

保育士確保・処遇改善促進事業……………2,736万円  
 市内の私立保育園などに対し、本市独自の給与の上乗せ補助として、通称「なりた手当」を交付し、保育士を確保しやすい環境を整え、待機児童の解消を図る。  
 国家戦略特区推進事業……………18億1,687万円  
 福祉手当・見舞金支給事業……………4億151万円  
 障害者施設利用支援事業……………10億8,393万円  
 児童ホーム整備事業……………1億4,585万円  
 子ども医療費助成事業……………5億2,944万円  
 地域型保育給付事業……………3億802万円  
 児童手当支給事業……………21億8,047万円  
 私立保育園等運営委託事業……………12億3,297万円  
 保育園運営事業……………8億7,766万円  
 病児・病後児保育施設整備費補助事業……………4,738万円



4月に成田病院内に開設された「成田ナーシング保育室」